

第6回 シネマ☺ピースカフェ

2026年5月15日(金)・16日(土)・29日(金)・30日(土)

平和な未来へ
差別のない社会を

80年前、国策のもと満州の地に渡った開拓団。日本の敗戦が色濃くなる中「女たち」に何が起きたのか。未来へ遺す戦禍を生きた人びとの証言。



黒川の女たち

監督 松原文枝 語り 大竹しのぶ
原田 幸子 監修 大竹しのぶ 脚本 大竹しのぶ 演出 大竹しのぶ
製作 黒川 隆雄 監製 黒川 隆雄 演出 黒川 隆雄
©ANTIPODE FILMS・YABAYAY MEDIA

1945年 関東軍敗走の満洲で待ちうけた、黒川開拓団の壮絶な運命
戦争と性暴力の事実、いま知るべきことがここに在る。



©テレビ朝日



太陽の運命

監督 佐古忠彦 監督作品
第4代沖縄県知事 1990-1998 大田 昌秀
第7代沖縄県知事 2014-2018 翁長 雄志
平和を追い求め、理不尽に抗い、信念に生きた二人の男——その熱き闘いの記録

©2025 映画「太陽の運命」製作委員会

沖縄の不屈の闘いを撮り続ける佐古忠彦監督の最新作。
大田昌秀と翁長雄志……二人の知事の人間の魅力にも光を
当てて、沖縄現代史に切り込む野心作。

パレスチナヨルダン川西域。そこで生まれ育った青年が世界に発信する、破壊と占領がすすむ故郷の様子。危険を冒して訪れるイスラエルのジャーナリスト。二人は何を目撃するのか。



2024 ANTIPODE FILMS, YABAYAY MEDIA



©瀬尾まいこ/2024「夜明けのすべて」製作委員会

心にひそかな暗がりを持った主人公たちの、恋愛でもなく連帯でもない穏やかなつながりが、私たちの今に問いかける。
人生は思うようにいかない。でもつながることによって光だつてある。

主催:ピースカフェちがさき 協力:チームみつばち

予約・連絡先 090-4845-9915(うらた・ショートメールで) 0467-53-4448(おごせ)

●参加費…… 予約 1,000円・当日 1,200円・学生、障がい者 500円

こちらからも申し込みます



< 上映作品紹介 >

『黒川の女たち』

2025年/99分/日本/ドキュメンタリー
監督:松原文枝 語り:大竹しのぶ

80年前の戦時下、国策のもと満州に渡った開拓団。日本の敗戦が色濃くなる中、突如としてソ連軍が侵攻。守ってくれるはずの関東軍の姿はなく、開拓団は過酷な状況に追い込まれた。そんな中、岐阜県から渡った黒川開拓団の人びとは敵であるソ連軍に助けを求めた。しかしその見返りは18歳以上の女性たちによる「接待」だった。「接待」の意味すらわからないまま女性たちは性の相手として差し出されたのだ。帰国後、女性たちを待っていたのは差別と偏見の目、口さがない誹謗中傷、口を塞ぐ村の人々。身も心も傷を負った女性たちの声はかき消されこの事実は長年伏せられてきた。だが、黒川の女性たちは手を携えた。したこと、されたこと。幾重にも重なる加害の事実と犠牲の史実を封印させないために――。

茅ヶ崎市民文化会館

1F ミニホール

5月15日(金)

①10:30~12:10(10:00 開場)

②14:00~15:40(13:30 開場)

『太陽(ティダ)の運命』

2025年/129分/日本/ドキュメンタリー
監督:佐古忠彦 語り:山根基世

茅ヶ崎市民文化会館

1F ミニホール

5月16日(土)

①10:15~12:25(9:45 開場)

②14:00~16:10(13:30 開場)

政治的立場は正反対であり、互いに反目しながらも国と激しく対峙した二人の沖縄県知事がいた。第4代知事大田昌秀(任期1990~98年)と第7代知事翁長雄志(任期2014~18年)である。ともに県民から幅広い支持を得、保革にとらわれず県政を運営した。大田は軍用地強制使用の代理署名拒否、翁長は辺野古埋め立て承認の取り消しによって国と法廷で争い、民主主義や地方自治のあり方、この国の矛盾を浮き彫りにした。平和を求め、理不尽に抗い、信念に生きた二人の太陽(ティダ=リーダー)は知事として何を目指し、何と闘い、何に挫折し、そして何を成したのか。そこから見えるこの国の現在地とは……。

パレスチナとイスラエル―立場を超えて手を取り合うふたりのジャーナリストに世界中が声援と喝采をおくる。「僕たちの映像で、占領終結を世界に訴えよう」彼らがスマホや手持ちカメラで捉えた緊迫の映像によってパレスチナの不条理な現実があぶりだされていく。しかし、本作が映し出すのはその惨状だけではない。同じ年齢の青年二人が共に過ごし対話を重ねることで政治的背景や立場を越えた“命がけの友情”が生まれる奇跡的な瞬間も映し出すのだ。彼らの姿は「どうしたら人は分かり合えるのか?」という問いへの一筋の希望を私たちに与えてくれるに違いない。

『ノー・アザー・ランド』

2024年/95分/ノルウェー、パレスチナ/ドキュメンタリー
監督:パーセル・アドラー、ユヴァル・アブラハム、ハムダーン・バラール、ラヘル・ショール

茅ヶ崎市民文化会館

1F ミニホール

5月29日(金)

①10:30~12:05(10:00 開場)

②14:00~15:35(13:30 開場)

『夜明けのすべて』

2024年/119分/日本/劇映画
監督:三宅唱 原作:瀬尾まいこ
出演:松村北斗、上白石萌音、他

茅ヶ崎市民文化会館

1F ミニホール

5月30日(土)

①10:15~12:15(9:45 開場)

②14:00~16:00(13:30 開場)

～ストーリー～

月に一度、PMS(月経前症候群)でイライラが抑えられなくなる藤沢さんはある日、同僚・山添くんとある小さな行動がきっかけで怒りを爆発させてしまう。転職してきたばかりだというのに、やる気が無さそうに見えていた山添くんもまたパニック障害を抱えていて、様々なことをあきらめ、生きがいも気力も失っていたのだった。心にひそかな暗がりを持つ二人の恋愛でもなく連帯でもない穏やかなつながりが私たちの今に問かけるものは大きい。自分の症状は改善されなくても、相手を助けることはできるのではないかと……。